

教育委員会だより

詳しくは
こちら



私たちの大切な宝である児童生徒が、夢や希望を持ち、持続可能な社会の創り手となれるよう、教育委員会や各学校ではさまざま取り組みを行っています。その「今」を紹介します。

8年度 大牟田市学校教育振興事業計画

教育委員会では、本市の学校教育の振興のため、今年度重点的に取り組む事業を盛り込んだ計画を策定しました。

●基本理念

「まちづくりは人づくりから」という基本的な考え方に立ち、本市の学校教育は、**持続可能な社会の創り手となる児童生徒の育成**を指すとともに、**日本社会に根差したウェルビーイングの向上**を図ります。

ウェルビーイング：身体的、精神的、社会的に満たされた良好な状態

●基本方針（取組方針）

児童生徒が持続可能な社会の創り手となれるよう、知識・技能とそれらを活用する力を育成し、社会において自立的に生きるための基盤を培うとともに、将来の夢や目標に向かって主体的に学習に取り組む態度を育成します。

また、日本社会に根差したウェルビーイングの実現のため、自尊心や自己効力感を高めるとともに、「幸福感」や「協働性」「多様性へ

の理解」「心身の健康」などの要素を向上させることが重要です。

そのため、知育・徳育・体育のバランスが取れた教育を推進するとともに、ICTの活用などにより「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させます。さらに、児童生徒が安全安心で豊かな学びを実現できるよう、地域とともにある学校づくりに取り組み、教育環境を充実させます。

●重点的に取り組む事業

- ◆学力ブラッシュアップ推進事業
- ◆小中一貫教育推進事業
- ◆SDGs/ESD推進事業
- ◆ハートフルスクールプロジェクト推進事業
- ◆学校再編整備推進事業
- ◆人権・同和教育・啓発推進事業

◆学力ブラッシュアップ推進事業
児童生徒の確かな学力を育成するため、小・中学校にスタディサポーターや学力向上アドバイザーの派遣などの支援を行うほか、学力調査の実施、タブレット端末で使用できるドリル教材の活用などを進めます。



タブレットは、ドリル学習のほかに、自分の考えを整理して学級の中で共有するなど、思考ツールとしても活用

◆SDGs/ESD推進事業
各学校の特色を生かしながら、地域、関係機関、団体等との連携を充実させ、本市の特色あるSDGs（持続可能な開発目標）/ESD（持続可能な開発のための教育）の深化を図り、あわせてキャリア教育を推進します。

◆ハートフルスクールプロジェクト推進事業
児童生徒の多様な学びの場を確保するため、校内教育支援センター「ハートフルルーム」や、学校外の居場所「サテライトスペース」を運営し、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーによる心のケアや関係機関との連携、学習指導員による学びの支援を行います。

◆学校再編整備推進事業
白光中学校と甘木中学校の再編校の桜花中学校開校に向けた準備や、白光中学校（旧橘中学校）と白光中学校の施設改修などを進め、教育環境を向上させます。

◆人権・同和教育・啓発推進事業
人権・同和教育に対する児童生徒の理解と認識を深めるための教育活動を進めるとともに、市民への講演会や学習会を開催し、啓発を図ります。

◆小中一貫教育推進事業
小中一貫教育制度の実施（宮原中学校区4年目、宅峰中学校区・松原中学校区2年目）と試行（御木中学校区・白銀中学校区3年目、白光中学校区2年目）などにより、義務教育9年間を見通した教育を推進します。

これらの事業を着実に進めることで、**持続可能な社会を創る「おおむたっ子」の育成と日本社会に根差したウェルビーイングの向上**を目指します。

新教育委員紹介



矢野 史子さん

平成16年9月

福岡工業大学大学院博士課程中退

平成17年4月～18年9月

(株)JT B九州

令和6年4月～7年3月

天の原小学校特別支援教育支援員

令和7年4月～

手鎌小学校学習指導員

【矢野史子委員より】

「うちの子、学校ではどんな環境で学んでいるのかな、本当に安心した学校生活を送っているのかな」と思われる保護者の人は多いと思います。

私も子どもを持つ一人の保護者として、また数年間、教育現場で実際に児童と関わっている者として、教育委員の活動を通して保護者目線で安心できる学校づくりに尽力していきます。よろしくお願いいたします。

「宅峰中学校ほしぞら分校」 (夜間中学) 学校の様子を紹介します！

夜間中学とは、義務教育を修了しないまま学齢期を経過した人や、病気や不登校などのさまざまな事情により十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した人、外国籍の人等を対象に、夜の時間帯等に授業が行われる公立中学校のことです。

大牟田市立宅峰中学校「ほしぞら分校」は、文部科学省より「学びの多様な学校」の指定を受け、夜間中学に学齢生徒を受け入れることもできるようになっていきます。

ほしぞら分校は、開校して今年度で3年目になります。場所は、松原



「ほしぞらツアー」で柳川へ川下り

中学校の北校舎二階です。ほしぞら分校専用の昇降口を設置しており、周りの目が気になる生徒にも配慮しています。

在校生は、10代から80代まで年齢も国籍もさまざまです。授業は、それぞれの実態に応じて、個別や少人数で行われます。学習内容も、一人ひとりの思いや願いに応じたものになるように工夫されており、安心して学習することが出来ます。



1対1の個別指導



T(eam)T(each)による少人数の指導体制

他にも、ほしぞら分校では、さまざまな学校行事やクラブ活動もあります。

8年3月には、初めての卒業式が行われました。1名の卒業生を職員、在校生、関係者が見守り、とてもあたたかで感動的な卒業式となりました。共に学ぶ仲間に出会い、できることを増やし、自分の目標を見つければ、見事に高校進学を実現しました。



初めての卒業生、誕生！

ほしぞら分校では、生徒が先生たちと共に生き生きと学習しています。ぜひ、ホームページもご覧ください。

ほしぞら分校 HP



■問合せ 教育委員会事務局総務課
教育みらい創造室 (☎412867)